

会計名			市民講座開設等事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	推進係	
10	5	1							
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習・青少年育成						
		施策の内容	学習機会の充実						
	目的	南部生涯学習センターと北部生涯学習センターにおいて、各種市民向け講座を行い、市民の学習意欲の向上や学習活動への参加促進を図る。				主たる内容	○市民講座の開催 ・連続講座 ・1DAY講座		
		位置づけ							
		関連計画	刈谷市生涯学習推進計画						
		根拠法令							
	対象者	市内在住・在勤または在学の人				事業期間	～		
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画V	3年度実績	・南部生涯学習センター市民講座 16講座141人受講 ・北部生涯学習センター市民講座 20講座161人受講 ・南部生涯学習センター1DAY講座 6講座46人受講 ・北部生涯学習センター1DAY講座 5講座43人受講						
4年度実績			・南部生涯学習センター市民講座 16講座130人受講 ・北部生涯学習センター市民講座 20講座166人受講 ・南部生涯学習センター1DAY講座 5講座38人受講 ・北部生涯学習センター1DAY講座 5講座53人受講						
			5年度実績	・南部生涯学習センター市民講座 16講座158人受講 ・北部生涯学習センター市民講座 20講座178人受講 ・南部生涯学習センター1DAY講座 5講座68人受講 ・北部生涯学習センター1DAY講座 5講座56人受講					
				6年度計画		・南部生涯学習センター市民講座 16講座 ・北部生涯学習センター市民講座 20講座 ・南部生涯学習センター1DAY講座 6講座 ・北部生涯学習センター1DAY講座 6講座 ・加藤与五郎博士顕彰講座 1講座			
成果		・今まで実施したことのない内容の講座も積極的に企画・実施し、市民が学ぶ意欲を向上させることができた。 ・指導者名簿の中から講師を探すなど、新たに市民講座の講師として活躍の場を提供することができた。							
課題		・講座内容をマンネリ化させず、市民が受講したいと思える魅力ある講座を企画していけるように工夫していく必要がある。							
指標名称（単位）		実績値			目標値				
		3年度	4年度	5年度	6年度	8年度			
活動指標		講座の年間受講者数（人）	391	387	460	500	600		
活動指標									
他市との比較検証	近隣市の講座実施実績 安城市：公民館講座（11施設） 225講座、3,660人参加 碧南市：文化教室（8施設） 35講座、430人参加								
C 事業コスト	単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳		
	事業費 ①		25,656	25,682	26,498	28,141	合計	26,498,410 円	
	財源	特定財源	680	636	2,798	1,720	委託料	25,792,000 円	
		一般財源	24,976	25,046	23,700	26,421	使用料及び賃借料	706,410 円	
	職員人件費 ②		2,196	2,108	2,340	2,055			
	総事業費（①＋②）		27,852	27,790	28,838	30,196			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称			
		5年度までの累積事業費		0		情報通信技術講習事業費補助金			
7年度以降の事業費見込		0		講座受講料					

会計名			市民講座開設等事業	担当部	教育部	
一般会計				担当課	生涯学習課	
款	項	目		担当係	推進係	
10	5	1				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	市民の生涯学習活動に対し、学習機会の提供及び活動の支援をしており、事業の必要性は高い。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	各種講座を開催することにより、市民への多様な学習プログラムの提供、学習意欲の一層の向上、参加の促進を効率的に図っている。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	高い	時代の潮流や市民ニーズに対応したプログラムの提供など、市民の生涯学習活動を支援するために、市の関与は必要である。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	普通	各種講座を実施することで、市民の学習意欲の向上及び学習活動への参加の促進に寄与している。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
	引き続き、南部及び北部生涯学習センターにおいて多彩な内容による講座を行うことで、市民の学習意欲の向上を図るとともに生涯学習活動への参加を促進していく。					

会計名			市民館施設改修事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	施設係	
10	5	1							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習・青少年育成						
		施策の内容	学習活動の支援						
	目的	市民館の施設等の老朽化に伴う改修等を行うことで、安全で快適な施設を維持する。				主たる内容	○施設等の改修工事 ○施設等の修繕		
		位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画、刈谷市公共施設等総合管理計画、刈谷市公共施設維持保全計画					
		根拠法令	刈谷市コミュニティ施設条例、刈谷市市民館施設整備要綱						
		対象者	市民		事業期間		～		
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画V	3年度実績	4年度実績		5年度実績		6年度計画		
			・便所改修 井ヶ谷、今岡、一里山、刈谷西部、小垣江、高須、桜、今川市民館		・外壁改修 東境、小垣江市民館 ・照明器具LED化 LED化済の西境、野田市民館を除く21市民館 （R3繰越分） ・空調設備の改修 東境、小垣江市民館		（R4繰越分） ・外壁、屋根改修 井ヶ谷、今岡、重原、熊市民館		・家具転倒防止対策工事 ・防犯灯設置工事 西境市民館 ・浄水器フィルター取替工事 野田市民館 （R5繰越分） ・外壁、屋根改修 今川、東刈谷市民館
成果			公共施設維持保全計画及び指定管理者である各市民館運営委員会との補修箇所の協議に基づき、施設又は設備の改修を行い、適切な施設の維持管理を行った。						
課題		空調機については、各市民館の建設年次及び空調機の設置年次からの経過年数を基に取替計画を策定し、各市民館運営委員会からの故障・不具合報告を踏まえ、計画的に実施する。今後、経年劣化により設備の不具合の増加も予想されることから、常に各市民館の状況を把握していく必要がある。							
指標名称（単位）		実績値			目標値				
		3年度	4年度	5年度	6年度	8年度			
成果指標		外壁改修率（％）	63.6	72.7	90.9	100.0	—		
成果指標		空調機更新率（％）	81.9	92.8	92.8	92.8	93.5		
他市との比較検証		類似事例なし							
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳	
	事業費 ①		6,364	101,280	38,318	18,850	合計	38,317,900 円	
	財源	特定財源	0	11,352	33,868	17,550	工事請負費	38,317,900 円	
		一般財源	6,364	89,928	4,450	1,300			
	職員人件費 ②		946	339	269	1,357			
	総事業費（①＋②）		7,310	101,619	38,587	20,207			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	5年度特定財源名称				
		5年度までの累積事業費		0	令和4年度からの繰越金				
		7年度以降の事業費見込		0					

会計名			市民館施設改修事業	担当部	教育部	
一般会計				担当課	生涯学習課	
款	項	目		担当係	施設係	
10	5	1				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	市民館は地域コミュニティの活動の場であり、多くの地域サークル、地区、公民館の活動に利用されている。施設や設備の老朽化に伴う改修を行うことは、施設を安全に利用していく上で必要であり、コミュニティ活動の促進につながっている。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	公共施設維持保全計画に沿って、施設や設備の改修を計画的に行っており、予防保全の考え方から、施設の長寿命化が図られ、長期的な視点でのコスト節減を図っている。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	普通	市民館は市が所有する公共施設であり、市が主体となって改修を行う必要がある。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	普通	市民館を安定的に利用可能な状態に維持することを目的としており、今後も市民サービスの低下を招かないよう管理する必要がある。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
	市民館を含め、市全体として公共施設維持保全計画が策定されており、今後も計画に沿った施設や設備の改修を実施する。 また、突発的な修繕に対応するため、日頃から指定管理者である各市民館運営委員会と連携を図り、施設の状況を常に把握できるように努めていく必要がある。					

会計名			地域住民交流活動支援事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	施設係	
10	5	1							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習・青少年育成						
		施策の内容	学習活動の支援						
	目的	市民館における新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後の活動の活性化及び光熱費高騰に伴う利用者や自治会の負担の軽減を図る。			主たる内容	光熱費の高騰を補填するため、各市民館の規模に応じて補助金を交付する。 ○補助額 ・元刈谷、小山、井ヶ谷、東境、一ツ木、小垣江、野田、東刈谷市民館 17万円 ・刈谷中部、刈谷東部、熊、高津波、重原、桜、西境、今川、泉田、築地、高須、半城土市民館 14万円 ・刈谷西部、今岡、一里山市民館 11万円			
		位置づけ							
		関連計画							
		根拠法令	刈谷市地域住民交流活動支援金交付要綱						
	対象者	市民			事業期間	令和5年度 ～ 令和5年度			
	実施方法	■直営 ■委託 ■指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画	
				・活動支援補助金交付					
成果		補助金を交付することにより、光熱費高騰に伴う利用者や自治会の負担を軽減し、地域活動の活性化を支援することができた。							
課題		今後とも地域の実情に応じ、地域活動の拠点施設として、適切に施設の管理運営を実施するため、指定管理者である各市民館運営委員会との連携を密にし、施設の状況把握に努める。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度	
活動指標		利用者満足度（％）			—	—	95.7	—	—
活動指標									
他市との比較検証		類似事例なし。							
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	3,370	0	合計 3,370,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 3,370,000 円		
		一般財源	0	0	3,370	0			
	職員人件費 ②		0	0	199	0			
	総事業費（①＋②）		0	0	3,569	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	5年度特定財源名称				
		5年度までの累積事業費		0					
		7年度以降の事業費見込		0					

会計名			地域住民交流活動支援事業	担当部	教育部	
一般会計				担当課	生涯学習課	
款	項	目		担当係	施設係	
10	5	1				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行後、市民館での活動活性化のため、光熱費高騰に伴う利用者等の負担を軽減する上で必要性は高い。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	市民館の規模に応じて補助額を算定しており、光熱費高騰に伴う負担軽減を図ることができる。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施するべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	普通	市民館は市が所有する公共施設であり、指定管理者との連携の上、適切に管理している。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	普通	光熱費高騰に伴う利用者等の負担の軽減を図るための補助であり、市民館での活動活性化に寄与している。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☐ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☒ 休止・廃止			
	当該事業は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行後、市民館での活動の活性化を支援するため、補助金を交付し、光熱費高騰に伴う利用者等の負担の軽減を図ることを目的とした令和5年度の単年度事業である。					

会計名			青少年健全育成事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	青少年係		
10	5	5								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習・青少年育成							
		施策の内容	青少年の健全育成							
	目的	市内小・中・高等学校、関係機関で組織する児童生徒愛護会の活動を中心に、児童生徒の生活指導、安全確保等の取組を行い、青少年の健全育成を図る。				主たる内容	○夏季・冬季休業中、テスト期間中、夜間等街頭補導の実施 ○児童生徒愛護の集いの開催 ○善行美徳表彰の実施 ○家庭の日・青少年作文コンクール、家族への手紙コンクールの実施 ○青年学級の開設ほか青少年の健全育成を図る事業の実施			
		位置づけ								
		関連計画								
	根拠法令									
	対象者	市民				事業期間	～			
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	B 事業実績 O 実施 V	3年度実績	4年度実績		5年度実績		6年度計画			
・児童生徒愛護会定例会 3回（2回は書面により実施） ・善行美徳表彰 21件21人 ・危険箇所調査 133箇所 ・各種作文コンクール 1,395通 ・合同街頭補導 延べ356日			・児童生徒愛護会定例会 3回 ・中学校区生活指導懇談会 延べ320人 ・児童生徒愛護の集い 764人 ・善行美徳表彰 21件25人 ・危険箇所調査 93箇所 ・各種作文コンクール 936通 ・合同街頭補導 延べ279日 ・少年の主張愛知県大会		・児童生徒愛護会定例会 2回 ・中学校区生活指導懇談会 延べ338人 ・児童生徒愛護の集い 157人 ・善行美徳表彰 22件24人 ・危険箇所調査 99箇所 ・各種作文コンクール 1,102通 ・合同街頭補導 延べ279日		・児童生徒愛護会定例会 ・中学校区生活指導懇談会 ・児童生徒愛護の集い ・善行美徳表彰 ・危険箇所調査 ・各種作文コンクール ・合同街頭補導			
児童生徒愛護会では学校、家庭、地域における青少年育成について情報共有を図り、共通の認識を得ることができた。										
成果		SNSやオンラインゲームなどにより、様々な人とつながる環境が広がる中、児童生徒がトラブルや悪影響を受けることがないように、引き続き青少年の健全育成に努める。								
課題										
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度		
活動指標		合同街頭補導（延べ日数）			356	279	279	380	380	
成果指標		児童生徒愛護の集い参加者数（人）			—	764	157	200	200	
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳			
	事業費 ①		1,916	2,876	2,398	2,620	合計 2,398,219 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	報酬 121,600 円			
		一般財源	1,916	2,876	2,398	2,620	報償費 555,128 円			
	職員人件費 ②		2,725	3,087	3,146	3,179	旅費 7,380 円			
	総事業費（①＋②）		4,641	5,963	5,544	5,799	需用費 1,100,526 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	5年度特定財源名称		委託料 590,135 円			
		5年度までの累積事業費		0			使用料及び賃借料 23,450 円			
7年度以降の事業費見込		0								

会計名			青少年健全育成事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	青少年係
10	5	5			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		高い	街頭補導活動、作文コンクール等各事業を実施することにより、青少年の非行防止や健全育成の推進に寄与することができると考えられ、必要性が高い。
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		高い	児童生徒愛護会は各学校の生徒指導主事等で構成されており、各地域の実情にあわせた取り組みや地域との連携を図ることができる。 学区内危険箇所調査を通学路改善要望と合同で実施し（平成27年度～）、調査や対応検討の効率化を図っている。
	妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		高い	各事業を実施するにあたっては、学校、家庭、地域及び関係行政機関の連携が必要であるため、市が主体となて行うことが妥当である。
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		普通	生活指導懇談会の開催や合同街頭補導の実施により、学校、家庭、地域が一体となって青少年の健全育成に取り組む環境づくりを推進することができる。
	今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止		
	青少年を取り巻く環境が大きく変化する中、その時々に対応すべき問題を意識しながら、地域ぐるみで児童生徒の生活指導・安全確保への取り組みを促進できるよう、事業を引き続き実施する。				

会計名			放課後子ども教室推進事業				担当部		教育部		
一般会計							担当課		生涯学習課		
款	項	目					担当係		青少年係		
10	5	5									
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	生涯学習・青少年育成								
		施策の内容	青少年の健全育成								
	目的	学校、家庭、地域が連携して放課後の子どもの安心・安全な居場所を設け、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。				主たる内容	地域の人々の参画を得て、遊びや学習、体験活動、地域住民との交流等の取組を行う放課後子ども教室を開設する。 【体験教室】 ○缶バッジ作り ○クリスマスグッズ作り ○折り紙遊び ○ニュースポーツ ○英語遊び ○ダンス ○キッズヨガ等				
		位置づけ									
		関連計画	子ども・子育て育成支援事業計画、刈谷市生涯学習推進計画								
		根拠法令	刈谷市放課後子ども教室事業実施要綱、刈谷市地域学校協働活動推進員設置要綱								
		対象者	各小学校に在籍する児童				事業期間	平成20年度～			
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他									
	BDO 事業実績 計画V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画			
市内全小学校（15校）で実施・開催回数 884回		市内全小学校（15校）で実施・開催回数 904回		市内全小学校（15校）で実施・開催回数 903回		市内全小学校（15校）で実施・開催回数 900回					
成果		地域住民の参画を得て、小学生の安心・安全な居場所を提供することができた。									
課題		少人数学級が推進されているため、実施教室の確保が課題となる。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度			
活動指標		登録児童数（人）				1,081	1,036	1,030	1,100	1,100	
指標											
他市との比較検証		開設状況 碧南市：8校中1校、週3日、知立市：7校中7校、週5日、両市とも小学校の教室で開設。高浜市：5校中5校、週5日、小学校のグラウンドで開設（雨天時は体育館）。安城市：21校中0校（H29年度廃止）									
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳			
	事業費 ①		23,072	24,062	25,166	36,386	合計	25,165,983 円			
	財源	特定財源	13,299	13,812	13,952	17,918	報酬	2,603,592 円			
		一般財源	9,773	10,250	11,214	18,468	職員手当等	520,718 円			
	職員人件費 ②		4,921	4,518	4,604	4,652	報償費	21,028,444 円			
	総事業費（①+②）		27,993	28,580	29,770	41,038	旅費	86,400 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称		需用費	524,985 円		
		5年度までの累積事業費		0		地域学校協働活動推進事業費補助金（県）		役務費	355,644 円		
7年度以降の事業費見込		0				備品購入費	46,200 円				

会計名			放課後子ども教室推進事業	担当部	教育部	
一般会計				担当課	生涯学習課	
款	項	目		担当係	青少年係	
10	5	5				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	児童が心豊かで健やかに育まれる環境整備推進のため、遊び、学び、体験、地域の方々と交流する場として、放課後の安心・安全な居場所を確保することが必要である。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	既存の学校施設を利用すること、また、地域住民にスタッフとして参加いただくことにより、効率的な事業の推進を図ることができる。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	普通	本事業を実施するにあたっては学校関係者との連携、協力が必要であり、行政が主体となって積極的に関与する必要がある。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	高い	日常的に交流することが少ない他学年の児童や地域の方々と接する機会ができ、児童の健全育成に大きく寄与している。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
	補助金の動向を注視しつつ、地域学校協働活動との兼ね合いを考えながら、今後の運営方法等について検討する必要がある。					

会計名			夢が広がる未来応援事業				担当部		教育部		
一般会計							担当課		生涯学習課		
款	項	目					担当係		青少年係		
10	5	5									
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	生涯学習・青少年育成								
		施策の内容	青少年の健全育成								
	目的	中学生を対象に、様々な職業や文化芸術、スポーツ等の各分野で活躍されている方の話を聴く機会を創り、未来に向けた夢の選択肢を広げる。				主たる内容	○子どもたちへの講演内容に関するアンケート実施 ○講演会開催及び放映				
		位置づけ									
		関連計画									
		根拠法令									
	対象者	市内中学生				事業期間	令和5年度～				
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他									
	BDO 事業実績 計画 実施 V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画			
				・講演内容に関する対象者アンケートの実施 ・講演会の開催		・講演内容に関する対象者アンケートの実施 ・講演会の開催					
成果		中学生がチャレンジすることの大切さなどを学ぶとともに、将来の夢を考えるきっかけを作ることができた。									
課題		引き続き、子どもたちの目線にあった内容の講師を選定していく必要がある。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度			
活動指標		講演会の参加人数（人）					—	1,056	1,000	1,000	
活動指標											
他市との比較検証		子どもたちの意見をあらかじめ聞いた上で、講師を選定する手法は他市には見られない事業と考える									
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	0	4,011	6,849	合計 4,011,100 円				
	財源	特定財源	0	0	0	0	役務費 95,700 円				
		一般財源	0	0	4,011	6,849	委託料 2,357,850 円				
	職員人件費 ②		0	0	1,688	1,706	使用料及び賃借料 1,557,550 円				
	総事業費（①＋②）		0	0	5,699	8,555					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称					
		5年度までの累積事業費		0							
		7年度以降の事業費見込		0							

会計名			夢が広がる未来応援事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	青少年係
10	5	5			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		普通	未来を担う子どもたちに、様々な可能性を広げることができる施策である。
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		普通	リモートによる視聴方法も併用することで、会場に來られない生徒も参加することができる手法をとっている。
	妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		普通	多様な体験や学習機会を設けることで青少年の健全育成を図るなど、総合計画とも整合性がある。
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		高い	コロナ禍などにより、夢や目標を持ちづらくなっていた子どもたちに対して、将来を考えるきっかけを創出する効果がある。
	今後の方向性		□ 拡充 ■ 現状維持 □ 改善・効率化 □ 縮小 □ 終期設定 □ 休止・廃止		
	引き続き、事業を継続することにより、子どもたちの健全育成を図る。				

会計名			市民講座開設等事業			担当部	教育部		
一般会計						担当課	生涯学習課		
款	項	目				担当係	推進係		
10	5	12							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習・青少年育成						
		施策の内容	学習機会の充実						
	目的	中央生涯学習センターにおいて、市民講座や大学連携講座等各種市民向け講座及びイベントを行い、市民の学習意欲の向上や学習活動への参加促進を図る。			主たる内容	○市民講座の開催 ○大学連携講座（愛知教育大学、名城大学、至学館大学、愛知工業大学）の開催 ○市民講師企画講座の開催 ○刈谷まなびの広場の開催			
		位置づけ							
		関連計画	刈谷市生涯学習推進計画						
		根拠法令							
	対象者	市内在住・在勤または在学の人など			事業期間	～			
	実施方法	□直営 □委託 ■指定管理 □補助・助成 ■その他							
	BDO 事業実績 計画V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画	
・市民講座 32講座491人受講 ・大学連携講座 愛知教育大学 2講座57人受講 名城大学 4講座99人受講 至学館大学 1講座20人受講 愛知工業大学 1講座10人受講 ・刈谷まなびの広場 17講座254人受講 3事業136人参加		・市民講座 33講座500人受講 ・大学連携講座 愛知教育大学 2講座15人受講 名城大学 4講座62人受講 至学館大学 1講座43人受講 愛知工業大学 2講座38人受講 ・刈谷まなびの広場 13講座171人受講 3事業287人参加		・市民講座 32講座544人受講 ・大学連携講座 愛知教育大学 2講座39人受講 名城大学 4講座152人受講 至学館大学 1講座39人受講 愛知工業大学 2講座43人受講 ・刈谷まなびの広場 17講座240人受講 3事業307人参加		・市民講座 30講座 ・大学連携講座 3講座 愛知教育大学 4講座 名城大学 1講座 至学館大学 2講座 愛知工業大学 10講座			
成果		・大学教授等による専門的な講座を実施することにより、市民の学習意欲の向上を図ることができた。 ・市民講師企画講座を開催することで、市民の学ぶ楽しさから一歩前進した教える喜びを体験してもらえる機会を提供し、教える第一歩を支援することができた。							
課題		・大学連携講座の実施においては大学の協力を得る必要があるため、大学との密な調整を通じて目標値の達成を図るため、引き続き質の高い講座を目指すとともに、定住自立圏域にチラシなどで広く周知し、受講者数を一定数確保するよう努める必要がある。 ・社会情勢や時代に即した内容の講座を企画することで、市民の学習意欲をより一層高められるよう取組む必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			3年度	4年度	5年度	6年度	8年度		
成果指標		市民講座の年間受講者数（人）		491	500	544	550	650	
成果指標		大学連携講座の年間受講者数（人）		186	158	273	300	350	
他市との比較検証		近隣市の講座実施実績 安城市：公民館講座（11施設） 225講座、3,660人参加 碧南市：文化教室（8施設） 35講座、430人参加							
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳	
	事業費 ①		12,102	12,260	12,367	12,667	合計 12,367,156 円		
	財源	特定財源	23	26	961	108	役務費 12,726 円		
		一般財源	12,079	12,234	11,406	12,559	委託料 12,166,000 円		
	職員人件費 ②		2,801	2,485	2,570	2,287	使用料及び賃借料 135,630 円		
	総事業費（①＋②）		14,903	14,745	14,937	14,954	負担金、補助及び交付金 52,800 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称			
		5年度までの累積事業費		0		情報通信技術講習事業費補助金			
7年度以降の事業費見込		0		講座受講料					

会計名			市民講座開設等事業		担当部	教育部
一般会計					担当課	生涯学習課
款	項	目			担当係	推進係
10	5	12				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	市民の生涯学習活動に対し、学習機会の提供及び活動の支援をしており、事業の必要性は高い。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	各種講座、生涯学習イベントの開催により市民への多様な学習プログラムの提供、学習意欲の一層の向上や参加促進を効率的に行っている。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	高い	時代の変化と市民ニーズに対応したプログラムの提供、生涯学習イベントの開催など市民の生涯学習活動を支援するために、市の関与は必要である。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	普通	各種講座及び生涯学習イベントを実施することで、市民の学習意欲の向上及び学習活動への参加の促進に寄与している。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
引き続き中央生涯学習センターにおいて、市民講座や大学連携講座など各種市民向け講座及び生涯学習イベントを行うことで、市民の学習意欲の向上を図るとともに学習活動への参加を促進していく。また、今後も市民講師企画講座を行うことで、新たに自らの技能を教えたいと思う市民の発掘を進めるとともに、講座のサポートを行っていく。						

会計名			文化振興事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	推進係	
10	5	12							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化・観光交流						
		施策の内容	文化芸術による魅力づくり						
	目的	市民に舞台芸術とふれあう機会を提供し、文化芸術意識の向上を図る。				主たる内容	○文化芸術創造の拠点である総合文化センターで、指定管理者が実施する各種の文化普及鑑賞事業を支援する。 ○発表の場としての機能を提供することで、市民の芸術文化活動を支援する。		
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	劇場、音楽堂等の活性化に関する法律						
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成23年度～		
	実施方法	□直営 □委託 ■指定管理 □補助・助成 □その他							
BDO 事業実績 計画V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画		
	32事業(有料28事業・無料4事業)を実施、入場者延24,989人		35事業(有料29事業・無料6事業)を実施、入場者延19,804人		34事業(有料27事業・無料7事業)を実施、入場者延32,849人		30事業(有料25事業・無料5事業)を実施		
	・大ホール利用 535回 88,479人		・大ホール利用 628回 139,531人		・大ホール利用 614回 162,237人				
	・小ホール利用 380回 20,348人		・小ホール利用 483回 35,486人		・小ホール利用 520回 39,506人				
	・リハーサル室1利用 374回 6,508人		・リハーサル室1利用 383回 11,717人		・リハーサル室1利用 366回 13,015人				
	・リハーサル室2利用 399回 5,790人		・リハーサル室2利用 479回 8,050人		・リハーサル室2利用 446回 9,713人				
	成果	・大ホールでの主催事業として、「小野リサコンサート」、「ねじまき鳥クロニクル」などを実施し、多くの市民に鑑賞してもらうことを通じて舞台芸術の普及、振興に寄与することができた。 ・令和3年度に発足した「アイリス少年少女合唱団」の活動を継続することにより、市内外の子どもたちが文化芸術活動に参加し優れた芸術に触れる機会を創出し、次代の担い手育成を図ることができた。							
	課題	・引き続き事業数の確保だけでなく、過去の実績を踏まえながら入場者数が見込める事業選定を行う必要がある。 ・市民のニーズを捉え、実施内容について検討する必要がある。							
	指標名称（単位）		実績値			目標値			
			3年度	4年度	5年度	6年度	8年度		
成果指標	文化振興事業入場者数（人）	24,989	19,804	32,849	35,000	36,000			
成果指標	大ホール稼働率（％）	64.6	77.2	84.1	85.0	85.0			
他市との比較検証	同規模の文化施設等の管理・運営・企画を民間の指定管理者に任せている自治体、施設名、事業数 兵庫県明石市：明石市民会館 53事業								
C 事業コスト	単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳		
	事業費 ①		38,077	34,991	35,214	33,280	合計	35,214,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	35,214,000 円	
		一般財源	38,077	34,991	35,214	33,280			
	職員人件費 ②		3,558	2,786	3,836	3,334			
	総事業費（①＋②）		41,635	37,777	39,050	36,614			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称			
		5年度までの累積事業費		0					
7年度以降の事業費見込		0							

会計名			文化振興事業	担当部	教育部	
一般会計				担当課	生涯学習課	
款	項	目		担当係	推進係	
10	5	12				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	普通	身近な場所で様々な文化普及・鑑賞事業を開催することで、市民の舞台芸術作品の鑑賞機会に対するニーズを実現している。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	高い	指定管理者による運営を行うことで民間の備えるノウハウを活用し、地方自治体の文化施設では招聘することが難しい事業を開催することに成功している。 大規模公演は、共同主催の形で実施することで、リスクを抑えながら質の高い公演を開催している。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	普通	文化芸術創造の拠点となることで、「誇りと愛着のもてるまちづくり」施策を実現している。また、普及活動としての市民スタッフ育成事業、市民の発表支援、芸術活動に参加する子どもたちの育成を通じて、「市民が活動しやすい施設・環境づくり」施策を実施している。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	高い	著名なアーティストや、芸術性の高い公演を実施することにより、身近に質の高い舞台芸術を鑑賞する機会を提供することで市民サービスの向上を図っている。また、センターの知名度向上により、刈谷市の認知度アップに貢献している。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
	ホールの知名度向上及びシティセールスとして著名な公演の誘致に力を入れるとともに、市民や地域の文化芸術の振興に寄与する公演を今後もバランスよく編成していく。更に、出演者等によるワークショップや講習会などの機会を創出することで、市民や子どもたちの文化芸術活動への参加を支援していく。					

会計名			家庭教育地域推進事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	青少年係		
10	5	1								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習・青少年育成							
		施策の内容	青少年の健全育成							
	目的	核家族化が進み、子どもへの接し方がわからないと不安を抱える親が増加している現状に対し、各種事業を地域において実施することで、家庭や地域の教育力の向上を図る。				主たる内容	○小学校区家庭教育推進協議会の実施			
		位置づけ	関連計画							
		根拠法令								
		対象者	市民		事業期間		～			
	実施方法	☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他								
	BDO 事業実績 計画V	3年度実績	4年度実績		5年度実績		6年度計画			
			富士松東小学校区家庭教育地域推進事業 ・災害対策訓練 ・あいさつ交通安全運動 ・アルミ缶、ペットボトルキャップ回収 ・創立40周年記念富東っ子音楽会		富士松東小学校区家庭教育地域推進事業 ・災害対策訓練 ・あいさつ交通安全運動 ・アルミ缶、ペットボトルキャップ回収 ・富東っ子観劇会		日高小学校区家庭教育地域推進事業 ・「日高っこフェス」の開催等 富士松北小学校区家庭教育地域推進事業 ・竹切り・竹炭づくり体験等 双葉小学校区家庭教育地域推進事業 ・車中泊体験等		亀城、富士松南、小垣江東小学校区家庭教育地域推進事業	
成果			学校、家庭、地域が協力して家庭教育地域活動、親子等ふれあい活動を行い、家庭教育への意識の高揚が図られた。							
課題			開催校が3校となった一方で参加者数が伸び悩んでいるため、より保護者の参画が得られるような企画内容の工夫の必要がある。							
指標名称（単位）		実績値		目標値						
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度		
		活動指標	家庭教育地域推進事業延べ参加者数（人）	1,610	1,641	1,364	1,000	1,000		
		指標								
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳		
	事業費 ①		270	270	270	270	合計	270,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	270,000 円		
		一般財源	270	270	270	270				
	職員人件費 ②		76	301	307	233				
	総事業費（①＋②）		346	571	577	503				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称				
		5年度までの累積事業費		0						
7年度以降の事業費見込		0								

会計名			P T A 活動育成事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	青少年係		
10	5	1								
P L A 事 業 概 要 計 画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習・青少年育成							
		施策の内容	青少年の健全育成							
	目 的	P T A 会員の教養の向上や相互の親睦を図ることにより、P T A 活動の育成を図る。				主 た る 内 容	P T A 連絡協議会育成補助金を交付し、連絡協議会総会等の開催するほか、日本 P T A 全国研究大会や東海北陸ブロック研究大会に参加する。			
		位置づけ								
		関連計画								
		根拠法令								
	対象者	刈谷市小中学校 P T A 連絡協議会				事業期間	～			
	実施方法	☐ 直営 ☐ 委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他								
	B 事 業 実 績 O ハ 実 施 V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画		
・ P T A 情報交換会 ・ P T A 連絡協議会女性部研修		・ P T A 連絡協議会総会 ・ P T A 情報交換会 ・ 東海・北陸ブロック P T A 研究大会名古屋大会 ・ 日本 P T A 全国研究大会山形大会 ・ 県・三河 P T A 連絡協議会各種事業		・ P T A 連絡協議会総会 ・ P T A 情報交換会 ・ 東海・北陸ブロック P T A 研究大会福井大会 ・ 日本 P T A 全国研究大会広島大会 ・ 県・三河 P T A 連絡協議会各種事業		・ P T A 連絡協議会総会 ・ P T A 情報交換会 ・ 東海・北陸ブロック P T A 研究大会愛知大会 ・ 日本 P T A 全国研究大会川崎大会 ・ 県・三河 P T A 連絡協議会各種事業				
成果		役員会、家庭教育部研修などの実施により、各小中学校の P T A 間での交流が図られた。								
課題		活動内容の検討や、学校との協働活動等における P T A の役割について研究が必要である。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度		
活動指標		P T A 総会など各種研修会の実施				実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
指標										
他市との比較検証										
C 事 業 コ ス ト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳		
	事業費 ①		226	444	362	563	合計 362,000 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 362,000 円			
		一般財源	226	444	362	563				
	職員人件費 ②		76	452	691	620				
	総事業費（①＋②）		302	896	1,053	1,183				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称				
		5年度までの累積事業費		0						
7年度以降の事業費見込		0								

会計名			生涯学習推進事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	推進係	
10	5	1							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習・青少年育成						
		施策の内容	学習活動の支援						
	目的	刈谷市生涯学習推進計画に基づき各種事業を実施することで、市民の学習活動への取組みを支援する。				主たる内容	○第3次刈谷市生涯学習推進計画における進捗管理 ○生涯学習に関する研修会の開催		
		位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画					
		根拠法令							
	対象者	市民等			事業期間	～			
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画V	3年度実績	・生涯学習推進会議 ・職員研修会 ・指導者等研修会 ・生涯学習リーダーステップアップ講座 ・生涯学習リーダー基礎知識講座（受講者9人）						
			4年度実績	・生涯学習推進会議 ・職員研修会 ・生涯学習リーダーステップアップ講座					
5年度実績				・生涯学習推進会議 ・職員研修会 ・指導者等研修会 ・生涯学習リーダー基礎知識講座（受講者9人）					
		6年度計画	・生涯学習推進会議 ・職員研修会 ・指導者等研修会 ・生涯学習リーダーステップアップ講座						
成果			・職員を対象とした研修会を実施し、生涯学習についての理解の促進及び意識向上を図ることができた。 ・生涯学習リーダー基礎知識講座を開催し、新規の生涯学習リーダーを育成することができた。						
課題		・生涯学習活動を推進する生涯学習リーダーの活動が継続して行われるよう、引き続き支援をする必要がある。							
指標名称（単位）		実績値			目標値				
			3年度	4年度	5年度	6年度	8年度		
成果指標		生涯学習推進員（生涯学習リーダー）の人数（人）	24	28	22	30	35		
成果指標		グループ・サークル名簿登録団体数（団体）	129	134	96	140	150		
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳		
	事業費 ①		189	100	266	492	合計	265,800 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	258,200 円	
		一般財源	189	100	266	492	使用料及び賃借料	7,600 円	
	職員人件費 ②		4,315	3,915	5,141	4,419			
	総事業費（①+②）		4,504	4,015	5,407	4,911			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称			
		5年度までの累積事業費		0					
		7年度以降の事業費見込		0					

会計名			公共施設予約案内システム管理事業				担当部		教育部	
一般会計							担当課		生涯学習課	
款	項	目					担当係		施設係	
10	5	1								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習・青少年育成							
		施策の内容	学習活動の支援							
	目的	公共施設の空き状況の確認、利用予約などの手続きがインターネットで可能となるシステムを運用する。				主たる内容	○公共施設予約案内システムの管理			
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画							
		根拠法令	刈谷市公共施設予約案内システムに関する規則、刈谷市教育委員会公共施設予約案内システムに関する規則							
	対象者		対象者を限定せず			事業期間	平成13年度～			
実施方法		■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
BDO 事業実績 計画V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画			
	・運用保守管理委託 一般施設等 40施設 学校ｽﾍﾟｰｽ開放施設 21校 ・機器リース		・運用保守管理委託 一般施設等 40施設 学校ｽﾍﾟｰｽ開放施設 21校 ・機器リース		・運用保守管理委託 一般施設等 40施設 学校ｽﾍﾟｰｽ開放施設 21校 ・機器リース（更新）		・運用保守管理委託 一般施設等 40施設 学校ｽﾍﾟｰｽ開放施設 21校 ・機器リース			
	成果	利用者は公共施設を利用するに当たり、予約手続きが容易になるとともに、施設側では使用料の現金収納が減ること で、事務の簡素化及び現金の紛失・盗難のリスクを回避することができた。								
	課題	システムの利用推進を図るため、予約案内システムを広く周知し、システムによる予約申込件数を増加させる。								
	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					3年度	4年度	5年度	6年度	8年度	
	成果 指標	システムによる施設予約申込件数（件）			112,282	108,569	112,671	110,000	110,000	
	指標									
	他市との 比較検証	あいち共同利用型施設予約システム：安城市、知立市始め県内28市町 独自システム：碧南市、刈谷市ほか								
	C 事業コスト	単位：千円		3年度 （決算）	4年度 （決算）	5年度 （決算）	6年度 （予算）	5年度 事業費内訳		
事業費 ①		14,088	13,771	23,547	14,494	合計 23,546,868 円				
財 源		特定財源	0	0	0	0	需用費 675,456 円			
		一般財源	14,088	13,771	23,547	14,494	役務費 158,194 円			
職員人件費 ②		1,401	1,393	3,184	2,830	委託料 15,998,840 円				
総事業費（①＋②）		15,489	15,164	26,731	17,324	使用料及び賃借料 3,325,278 円				
建設 事業		全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称		備品購入費 3,389,100 円		
		5年度までの累積事業費		0						
	7年度以降の事業費見込		0							

会計名			公民館事務費事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	推進係	
10	5	1							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習・青少年育成						
		施策の内容	学習活動の支援						
	目的	公民館活動の功績が顕著な方の表彰や県が実施する事業へ参加することにより、公民館事業の円滑な実施を図る。				主たる内容	中央公民館長表彰に要する経費のほか、県が実施する公民館関係事業へ参加するための経費を支出する。		
		位置づけ	関連計画						
		根拠法令							
	対象者	市民				事業期間	～ 令和5年度		
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 ■その他							
	BDO 事業実績 計画V	3年度実績	4年度実績		5年度実績		6年度計画		
			・中央公民館長表彰 7名 ・県公民館連合会理事会 ・県公民館主事部会代表者会 ・県公民館連合会総会		・中央公民館長表彰 8名 ・県公民館連合会理事会 ・県公民館主事部会代表者会 ・県公民館連合会総会		・中央公民館長表彰 9名 ・県公民館連合会理事会 ・県公民館主事部会代表者会 ・県公民館連合会総会		公民館運営事業に統合
成果						・中央公民館長表彰の実施により、多年にわたる公民館活動への取組みを広く知らしめるとともに、他の者への活動の励みとすることができた。 ・県の主催する公民館関係事業や研修へ参加することにより、各市町の活動状況などを把握することができた。			
課題						・毎年総合式典に合わせて行われる中央公民館長表彰の対象者数により、記念品費などが増減する。 ・県の各種会議での報告は、会議へ直接参加しなくても書面やオンラインで十分な場合があることを踏まえ、事務の軽減を検討する必要がある。			
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度	
活動指標		中央公民館長表彰実施及び各種会議参加			実施	実施	実施	—	—
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳	
	事業費 ①		39	46	50	0	合計	50,069 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	18,000 円	
		一般財源	39	46	50	0	旅費	1,720 円	
	職員人件費 ②		2,915	1,656	1,765	0	需用費	8,349 円	
	総事業費（①＋②）		2,954	1,702	1,815	0	負担金、補助及び交付金	22,000 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称			
		5年度までの累積事業費		0					
		7年度以降の事業費見込		0					

会計名			市民館施設管理事業				担当部		教育部	
一般会計							担当課		生涯学習課	
款	項	目					担当係		施設係	
10	5	1								

PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化					
		基本施策	生涯学習・青少年育成					
		施策の内容	学習活動の支援					
	目的	指定管理者により、適切な施設の管理運営を行い、地域活動の活性化及び生涯学習の推進を図る。				主たる内容	〇市民館の管理運営	
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画					
		根拠法令	刈谷市コミュニティ施設条例、刈谷市市民館施設維持管理要綱					
		対象者	市民			事業期間	昭和61年度～	
	実施方法	■直営 ■委託 ■指定管理 □補助・助成 □その他						

BDO 事業実績 計画 実施 V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画			
	・施設又は設備の修繕 ・樹木剪定委託 ・指定管理料（全23館）		・施設又は設備の修繕 ・樹木剪定委託 ・指定管理料（全23館） ・AEDの設置（全23館）		・施設又は設備の修繕 ・樹木剪定委託 ・指定管理料（全23館）		・施設又は設備の修繕 ・樹木剪定委託 ・指定管理料（全23館）			
	成果	指定管理者である各市民館運営委員会からの報告や経年劣化状況を踏まえ、施設の修繕や樹木の剪定を行い、環境美化を図った。								
	課題	今後とも地域の実情に応じ、地域に愛される市民館として、適切に施設の管理運営を実施するため、指定管理者である各市民館運営委員会との連携を密にし、施設の状況把握に努める。								
	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					3年度	4年度	5年度	6年度	8年度	
	成果指標	利用者満足度（％）				95.7	91.3	95.7	90.0	90.0
	指標									
	他市との比較検証	類似事例なし								

C 事業コスト	単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳	
	事業費 ①		27,463	34,163	28,955	32,715	合計	28,955,438 円
	財源	特定財源	29	26	25	255	需用費	3,050,124 円
		一般財源	27,434	34,137	28,930	32,460	役務費	210,665 円
	職員人件費 ②		1,476	1,468	2,263	2,086	委託料	24,836,649 円
	総事業費（①+②）		28,939	35,631	31,218	34,801	使用料及び賃借料	858,000 円
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称		
		5年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料		
7年度以降の事業費見込		0						

会計名			公民館運営事業				担当部		教育部	
一般会計							担当課		生涯学習課	
款	項	目					担当係		推進係	
10	5	1								

PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心						
		基本施策	共存・協働						
		施策の内容	市民活動・地域活動の推進						
	目的	公民館活動の運営を行い、地区活動の活性化を図り、社会教育の活性化を目指す。				主たる内容	○公民館運営委託 ○備品購入補助 ○公民館連絡協議会補助 ○公民館役員（館長・主事・書記）への謝礼		
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	地区公民館備品等整備事業補助金交付要綱						
		対象者	市民			事業期間	～		
	実施方法	☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他							

BDO 事業実績 計画 実施 V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画		
	・公民館運営委託（23地区） ・公民館備品購入補助（20地区） ・公民館連絡協議会補助 ・公民館役員（館長・主事・書記）への謝礼		・公民館運営委託（23地区） ・公民館備品購入補助（19地区） ・公民館連絡協議会補助 ・公民館役員（館長・主事・書記）への謝礼		・公民館運営委託（23地区） ・公民館備品購入補助（21地区） ・公民館連絡協議会補助 ・公民館役員（館長・主事・書記）への謝礼		・中央公民館長表彰 13名 ・県公民館連合会理事会 ・県公民館主事部会代表者会 ・県公民館連合会総会 ・公民館運営委託（23地区） ・公民館備品購入館補助 ・公民館連絡協議会補助 ・公民館役員（館長・主事・書記）への謝礼		
	成果	・各地区公民館へ事業委託及び備品購入補助を行い、公民館活動の活性化を推進した。							
	課題	・各地区の特性を生かした活動が行えるよう、引き続き支援に努める必要がある。							
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					3年度	4年度	5年度	6年度	8年度
	活動指標	公民館活動事業数（事業）			73	123	160	160	165
	指標								
	他市との比較検証								

C 事業コスト	単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳	
	事業費 ①		22,344	22,144	22,344	23,975	合計	22,343,882 円
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	7,755,600 円
		一般財源	22,344	22,144	22,344	23,975	役務費	89,700 円
	職員人件費 ②		3,634	3,614	2,609	3,179	委託料	11,170,000 円
	総事業費（①＋②）		25,978	25,758	24,953	27,154	負担金、補助及び交付金	3,328,582 円
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称		
		5年度までの累積事業費		0				
7年度以降の事業費見込		0						

会計名			集会所設置等補助事業				担当部		教育部		
一般会計							担当課		生涯学習課		
款	項	目					担当係		施設係		
10	5	1									
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	生涯学習・青少年育成								
		施策の内容	学習活動の支援								
	目的	集会所の管理に必要な経費の一部を補助することにより、地域活動の活性化及び生涯学習の推進を図る。				主たる内容	○集会所借地料補助 ○集会所運営費補助 ○集会所修繕費補助				
		位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画							
		根拠法令	集会所設置等補助金交付要綱								
		対象者	市民				事業期間	～			
	実施方法	☐ 直営 ☐ 委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他									
	BDO 事業実績 計画 実施 V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画			
		・集会所運営費補助（33か所） ・集会所借地料補助（9か所） ・集会所修繕費補助		・集会所運営費補助（33か所） ・集会所借地料補助（9か所） ・集会所修繕費補助		・集会所運営費補助（33か所） ・集会所借地料補助（9か所） ・集会所修繕費補助		・集会所運営費補助（33か所） ・集会所借地料補助（9か所） ・集会所修繕費等補助			
成果		集会所の維持管理に要する運営費、借地料及び修繕費を補助することにより、地域住民の負担を軽減し、地域活動の拠点の確保に寄与した。									
課題		今後も集会所管理者への制度周知を実施し、集会所の維持に貢献する。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度			
活動指標		集会所修繕費補助件数（件）			3	4	6	4	4		
成果指標		補助により運営を維持できた集会所数（箇所）			33	33	33	33	33		
他市との比較検証		類似事例なし									
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳			
	事業費 ①		9,688	10,544	9,101	13,144	合計 9,101,315 円				
	財源	特定財源	7	7	7	6	負担金、補助及び交付金 9,101,315 円				
		一般財源	9,681	10,537	9,094	13,138					
	職員人件費 ②		1,401	1,393	1,036	1,047					
	総事業費（①＋②）		11,089	11,937	10,137	14,191					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称					
		5年度までの累積事業費		0		土地建物貸付収入					
7年度以降の事業費見込		0									

会計名			加藤与五郎顕彰科学教育振興基金積立事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	推進係		
10	5	1								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習・青少年育成							
		施策の内容	学習機会の充実							
	目的	今後必要となる加藤与五郎博士の顕彰及び科学教育の振興に係る資金として、基金を積み立てる。				主たる内容	加藤与五郎顕彰科学教育振興基金を積み立てる。			
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	刈谷市加藤与五郎顕彰科学教育振興基金条例							
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	令和5年度～			
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
BDO 事業実績 計画V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画			
					・寄附金 40,000,000円 ・運用収入 73,717円		運用収入を基金に積み立てる。			
	成果		刈谷市名誉市民である加藤与五郎氏を顕彰し、及び科学教育の振興を図るための事業の財源として新たに基金を設置し、寄附金及び運用収入を積み立てた。							
	課題									
	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					3年度	4年度	5年度	6年度	8年度	
	活動指標									
	活動指標									
	他市との比較検証									
	C 事業コスト	単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳		
事業費 ①		0	0	40,074	85	合計 40,073,717 円				
財源		特定財源	0	0	74	85	積立金 40,073,717 円			
		一般財源	0	0	40,000	0				
職員人件費 ②		0	0	269	233					
総事業費（①＋②）		0	0	40,343	318					
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0	5年度特定財源名称					
		5年度までの累積事業費		0	加藤与五郎顕彰科学教育振興基金積立金利子					
		7年度以降の事業費見込		0						

会計名			ハツラツかりやっ子育成支援事業				担当部		教育部		
一般会計							担当課		生涯学習課		
款	項	目					担当係		青少年係		
10	5	5									
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	生涯学習・青少年育成								
		施策の内容	青少年の健全育成								
	目的	青少年に自然体験、地域活動、異世代交流等の多様な活動の機会を提供し、地域社会を基盤とした青少年健全育成の環境づくりを推進する。				主たる内容	複数の非営利団体が連携して実施する青少年健全育成に大きな効果が得られる先駆的な事業に対して、1事業10万円を上限として補助金を交付する。				
		位置づけ									
		関連計画									
	根拠法令										
	対象者	市民				事業期間	平成16年度～				
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他									
	BDO 事業実績 計画 実施 V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画			
採択1事業 ・「どろんこ案山子コンテスト」（どろん子道場等）		採択1事業 ・「どろんこ案山子コンテスト」（どろん子道場等）		採択1事業 ・「どろんこ案山子コンテスト」（どろん子道場等）		応募4事業					
成果		補助金を交付することにより、地域社会を基盤とした多様な活動の機会を提供し、家庭や学校及び地域が一体となってハツラツとした子どもを育む環境づくりを支援することができた。									
課題		新型コロナウイルス感染症が第5類に移行し、各種イベントが再開される中、事業の応募件数の増加を図るため、効果的な広報を検討する必要がある。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度			
成果指標		補助対象採択事業数（事業）			1	1	1	4	4		
成果指標		参加者数（人）			600	554	760	700	700		
他市との比較検証											
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳			
	事業費 ①		100	76	68	400	合計 68,137 円				
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 68,137 円				
		一般財源	100	76	68	400					
	職員人件費 ②		303	452	460	233					
	総事業費（①＋②）		403	528	528	633					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	5年度特定財源名称						
		5年度までの累積事業費		0							
		7年度以降の事業費見込		0							

会計名			キッズクラブ事業				担当部		教育部		
一般会計							担当課		生涯学習課		
款	項	目					担当係		青少年係		
10	5	5									
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	生涯学習・青少年育成								
		施策の内容	青少年の健全育成								
	目的	週末に子どもの安心・安全な活動拠点を設け、遊び、文化活動等の体験活動を通じ、子どもが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。				主たる内容	小・中学生を対象に市内3か所の生涯学習センターでキッズクラブを開設し、子どもたちが安心して集うことができる居場所を提供する。 ○開催場所 ・たんぽぽ 南部生涯学習センター ・アイリス 総合文化センター ・かきつばた 北部生涯学習センター ○開催日 6月から3月までの土曜日				
		位置づけ									
		関連計画									
		根拠法令	刈谷市キッズクラブ事業実施要綱								
	対象者		市内在住の小・中学生			事業期間		平成17年度～			
	実施方法		☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画			
【参加者延べ人数】 ・たんぽぽ 361人 ・アイリス 252人 ・かきつばた 133人 合 計 746人		【参加延べ人数】 ・たんぽぽ 311人 ・アイリス 267人 ・かきつばた 109人 合 計 687人		【参加延べ人数】 ・たんぽぽ 243人 ・アイリス 324人 ・かきつばた 113人 合 計 680人		【参加予定人数】 ・たんぽぽ 300人 ・アイリス 300人 ・かきつばた 200人 合 計 800人					
成果		創作活動、自然体験など、様々な活動を通して地域住民や異世代交流を図るとともに、週末の安心・安全な居場所を提供することができた。									
課題		新型コロナウイルス感染症区分の五類移行を受け、プログラム内容の再検討が必要である。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度			
活動指標		開催数（回）			62	61	60	65	65		
成果指標		参加者数（人）			746	687	680	800	800		
他市との比較検証		高浜市は1校のみPTA土曜クラブに委託し、家庭科、書道、剣道、ちぎり絵、フルートの5クラブ制で開催している。									
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳			
	事業費 ①		2,794	2,748	2,851	2,968	合計 2,850,580 円				
	財源	特定財源	1,168	1,104	1,069	1,377	委託料 2,850,580 円				
		一般財源	1,626	1,644	1,782	1,591					
	職員人件費 ②		1,211	1,958	1,995	1,473					
	総事業費（①+②）		4,005	4,706	4,846	4,441					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称					
		5年度までの累積事業費		0		地域学校協働活動推進事業費補助金（県）					
7年度以降の事業費見込		0									

会計名			中高生の居場所づくり事業				担当部	教育部								
一般会計							担当課	生涯学習課								
款	項	目					担当係	青少年係								
10	5	5														
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化													
		基本施策	生涯学習・青少年育成													
		施策の内容	青少年の健全育成													
	目的	中高生が放課後等に気軽に集まることができる居場所を提供する。また、中高生自らイベントの企画運営に携わることができる機会を提供することにより、中高生の自立を支援する。				主たる内容	放課後等に気軽に立ち寄り、学習や交流ができる中高生のための居場所を提供し、声かけや悩み等の相談対応、自主的な活動への支援を行う。また、大学生をピアカウンセラー（仲間として相談に応じる人）や学習支援スタッフとして配置する。 ○場所 総合文化センター ○開催日 毎週火・木曜日 16時～21時									
		位置づけ	関連計画	刈谷市子ども・子育て支援事業計画												
		根拠法令	子ども・若者育成支援推進法													
		対象者	市内在住または在学の中高生				事業期間	平成22年度～								
	実施方法	☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他														
	BDO 事業実績 計画 実施 V	3年度実績	・利用者数 延べ295人		4年度実績		・利用者数 延べ443人		5年度実績		・利用者数 延べ371人		6年度計画		・利用者数 延べ400人	
			・イベント参加者数 多目的ホール開放始め 3事業 延べ50人		・イベント参加者数 多目的ホール開放始め 5事業 延べ99人		・イベント参加者数 多目的ホール開放始め 6事業 延べ166人		・イベント参加者数 多目的ホール開放始め 6事業 延べ180人							
成果			仲間同士や大学生スタッフとの交流を深める中で、中高生が気軽に立寄ることができる居場所づくりができた。学習支援を併設し、利用目的を増やしたことにより、利用の活性化を図ることができた。また、テスト期間以外も創作活動室を開放した。													
			課題	中高生の自主性や社会性を育む自主活動につながる工夫が必要である。また、コロナ禍を経て、利用者が減少しているため、事業の周知をより行う必要がある。												
指標名称（単位）						実績値			目標値							
成果指標		延べ利用者数（人）						3年度	4年度	5年度	6年度	8年度				
成果指標		中高生が関わったイベントの回数（回）						16	18	17	18	18				
他市との比較検証		碧南市：類似事業の実施（「ららくるにしばた」学習支援）														
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳								
		事業費 ①		2,792	2,820	3,020	3,148	合計 3,020,206 円								
	財源	特定財源	552	688	679	770	委託料 3,020,206 円									
		一般財源	2,240	2,132	2,341	2,378										
	職員人件費 ②		1,590	1,732	1,765	853										
	総事業費（①＋②）		4,382	4,552	4,785	4,001										
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称										
		5年度までの累積事業費		0		地域学校協働活動推進事業費補助金（県）										
7年度以降の事業費見込		0														

会計名			子ども・若者支援事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	青少年係	
10	5	5							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習・青少年育成						
		施策の内容	青少年の健全育成						
	目的	ひきこもりやニート等の困難を抱える子ども・若者及びその家族に対し、専門の相談員による相談窓口を開設することで、子ども・若者の健全な育成を図る。 また、子ども・若者支援地域協議会を実施することで、子ども・若者支援機関同士の連携を図る。				主たる内容	○子ども・若者総合相談窓口の実施 対象者 市内在住、在勤又は在学で、概ね40歳までの人及びその家族 場所 子ども相談センター 日時 毎週木曜日 13時15分～19時 毎週土曜日 9時45分～15時45分 ※令和6年10月から週6日に拡充 ○子ども・若者の居場所 対象者 総合相談窓口と同じ 場所 子ども相談センター 日時 毎月第2・3・4土曜日 13時30分～16時30分		
		位置づけ							
		関連計画							
		根拠法令	子ども・若者育成支援推進法						
	対象者	子ども・若者（概ね40歳まで）				事業期間	令和2年度～		
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画V	3年度実績	・相談者数 26人 ・相談回数 168回 ・子ども・若者支援地域協議会開催回数 4回						
4年度実績			・相談者数 53人 ・相談回数 318回 ・子ども・若者のための居場所開催回数 12回 ・子ども・若者支援地域協議会開催回数 3回						
			5年度実績	・相談者数 58人 ・相談回数 342回 ・子ども・若者のための居場所開催回数 36回 ・子ども・若者支援地域協議会開催回数 3回					
				6年度計画 ・相談者数 75人 ・相談回数 450回 ・子ども・若者のための居場所開催回数 36回 ・子ども・若者支援地域協議会開催回数 4回					
成果		ひきこもりやニートなど社会的困難を抱える子ども・若者の不安や悩みなどを聴き、他の支援機関と連携しながら相談窓口を実施することで、相談者とその家族の悩み解消のための検討や、心理的不安の軽減を行うことができた。							
課題		困難な相談事例への対応のため、ケース検討会議を実施するなど、他機関との連携をさらに充実させる必要がある。							
指標名称（単位）		実績値			目標値				
		3年度	4年度	5年度	6年度	8年度			
		活動指標	相談回数（回）	168	318	342	450	600	
		活動指標							
他市との比較検証	豊田市若者サポートステーション：毎週火～日曜日実施 安城市若者相談窓口：毎週水曜日、毎月第1土曜日実施 西尾市子ども・若者総合相談センター：毎週火～土曜日実施								
C 事業コスト	単位：千円	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳			
	事業費 ①	1,607	6,299	7,616	21,619	合計	7,616,317 円		
	財源	特定財源	0	2,442	1,613	6,500	報償費	183,600 円	
		一般財源	1,607	3,857	6,003	15,119	役務費	7,510 円	
	職員人件費 ②	3,785	3,765	3,990	4,652	委託料	7,268,800 円		
	総事業費（①+②）	5,392	10,064	11,606	26,271	使用料及び賃借料	156,407 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	0	5年度特定財源名称					
		5年度までの累積事業費	0	・新型コロナウイルス感染症 セーフティネット強化交付金 ・生活困窮者就労準備支援事業費等補助金					
7年度以降の事業費見込		0							

会計名			青年講座開催事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	青少年係		
10	5	5								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習・青少年育成							
		施策の内容	青少年の健全育成							
	目的	青年層に多様な学習・体験活動の機会の場を提供し、生涯学習の推進を図る。				主たる内容	碧海5市在住または市内在勤・在学の18～39歳を対象に、文化・芸術・福祉・スポーツなどの各種講座を開催する。			
		位置づけ	関連計画							
		根拠法令								
	対象者	18～39歳の青年層				事業期間	平成7年度～			
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画		
		・青年講座3期14回 第1期 はじめてのドライフラ ワーアレンジ講座 5回 第2期 こころと身体をつなぐ ヨガ 8回 第3期 秒で作れるパワポー ワークショップ 1回 受講生延べ142人		・青年講座3期16回 第1期 癒しのアロマクラフト &ケア講座 6回 第2期 基礎から学ぼう！ド ローン講座 3回 第3期 季節のフードアート講 座 7回 受講生延べ156人		・青年講座3期18回 第1期 旅をもっと楽しもう！ 初級トラベル英会話 8回 第2期 心と身体を整える発酵 食とパン 6回 第3期 レジンで世界にひとつ のアクセサリーを作ろう♪ 4 回 受講生延べ121人		・青年講座3期24回		
成果		青年層に多様な学習、体験活動の機会の場を提供することができた。								
課題		受講者数の増加を目指し、青年層にとって魅力的な講座の内容について検討する必要がある。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度		
活動 指標		募集案内配布事業所数（か所）			33	33	32	32	32	
成果 指標		受講者数（人）			37	33	23	45	45	
他市との 比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		3年度 （決算）	4年度 （決算）	5年度 （決算）	6年度 （予算）	5年度 事業費内訳		
	事業費 ①		227	240	238	522	合計	237,650 円		
	財 源	特定財源	17	20	14	64	報償費	168,000 円		
		一般財源	210	220	224	458	使用料及び賃借料	69,650 円		
	職員人件費 ②		2,423	2,409	2,455	2,559				
	総事業費（①+②）		2,650	2,649	2,693	3,081				
	建設 事業	全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称				
		5年度までの累積事業費		0		青年講座受講料				
		7年度以降の事業費見込		0						

会計名			二十歳の集い開催事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	青少年係		
10	5	5								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習・青少年育成							
		施策の内容	青少年の健全育成							
	目的	刈谷市二十歳の集い実行委員会との共催で二十歳の集いを開催し、二十歳の門出を祝福するとともに、大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする意欲の向上を図る。				主たる内容	二十歳になる者の中から実行委員会を組織し、式の企画及び運営を行い、心に残る二十歳の集いを開催する。			
		位置づけ	関連計画							
		根拠法令								
		対象者	二十歳の者				事業期間	～		
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画		
		開催日 令和4年1月9日 会場 総合文化センター 対象者数 1,765名 参加者数 1,239名 ※新型コロナウイルス感染症の影響により2部制で開催		開催日 令和5年1月8日 会場 総合文化センター 対象者数 1,685名 参加者数 1,205名 ※今年度から成年年齢引下げにより「二十歳の集い」に名称変更して開催 ※新型コロナウイルス感染症の影響により2部制で開催		開催日 令和6年1月7日 会場 総合文化センター 対象者数 1,732名 参加者数 1,200名 ※2部制で開催		開催日 令和7年1月12日 会場 総合文化センター 対象者数 約1,700名		
成果		二十歳の集いを行うことにより、参加者が恩師や旧友らと話し合う機会となり、大人として今後どのように生きていくかを語るきっかけとなった。 実行委員会により自主的な式の企画・運営を行うことにより、社会参加の機会を提供することができた。								
課題		実行委員の募集について学校の推薦に頼るところが多く、公募及び紹介による確保に移行できるよう実行委員会の魅力発信に検討を要する。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度		
成果指標		協力ボランティア(実行委員OB・次年度実行委員)の参加人数（人）			28	23	24	40	40	
成果指標		二十歳の集い参加率（%）			70.2	71.5	69.3	72	72	
他市との比較検証		碧南市、安城市、知立市、高浜市、東浦町は実行委員会を組織し、実施している。								
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳		
	事業費 ①		4,203	4,044	4,106	4,586	合計 4,105,759 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料 3,516,829 円			
		一般財源	4,203	4,044	4,106	4,586	使用料及び賃借料 588,930 円			
	職員人件費 ②		5,300	5,647	5,371	5,427				
	総事業費（①+②）		9,503	9,691	9,477	10,013				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称				
		5年度までの累積事業費		0						
7年度以降の事業費見込		0								

会計名			施設管理事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	施設係	
10	5	10							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習・青少年育成						
		施策の内容	学習活動の支援						
	目的	指定管理者により適切に施設の管理運営を行い、市民の福祉の増進を図る。				主たる内容	〇市民休暇村の管理運営		
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	刈谷市民休暇村条例、刈谷市民休暇村条例施行規則						
		対象者	市内在住・在勤・在学者、下條村民		事業期間	平成10年度～			
	実施方法	☐ 直営 ☐ 委託 ☒ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他							
BDO 事業実績 計画V	3年度実績	・指定管理者による管理運営							
		4年度実績	・指定管理者による管理運営						
			5年度実績	・指定管理者による管理運営 ・ウェブ予約の導入 ・予約の抽選制の導入					
				6年度計画 ・指定管理者による管理運営					
	成果	指定管理者により適切に施設の管理運営を行うとともに、ウェブ予約の導入により利便性が向上した。また、予約の抽選制を導入したことで、申込者の機会均等を図ることができ、公平性を向上させることができた。							
	課題	指定管理者の管理運営に対するモニタリング、指導、助言を行い、リピーターを大切にしつつ、リニューアルを契機とした新規利用者の獲得に努めるなど、客室稼働率の拡大を図る必要がある。							
	指標名称（単位）		実績値			目標値			
			3年度	4年度	5年度	6年度	8年度		
	成果指標	年間客室稼働率（％）	64.5	88.1	85.3	81.0	83.0		
	成果指標	ふれ愛パーク利用者数（人）	755	636	1,247	1,200	1,500		
他市との比較検証	尾張旭市「尾張あさひ苑（阿智村）」 名古屋市「おんたけ休暇村（王滝村）」								
C 事業コスト	単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	112,636	104,913	合計 112,635,888 円		
	財源	特定財源	0	0	1	11	需用費 154,000 円		
		一般財源	0	0	112,635	104,902	役務費 80,421 円		
	職員人件費 ②		0	0	1,189	1,434	委託料 106,460,000 円		
	総事業費（①＋②）		0	0	113,825	106,347	使用料及び賃借料 3,490,907 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称		負担金、補助及び交付金 2,450,560 円	
		5年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料			
7年度以降の事業費見込		0							

会計名			南部生涯学習センター施設管理事業				担当部		教育部	
一般会計							担当課		生涯学習課	
款	項	目					担当係		施設係	
10	5	11								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習・青少年育成							
		施策の内容	学習活動の支援							
	目的	指定管理者により、適切に施設の管理運営を行い、安全で快適に利用できる生涯学習施設を提供する。				主たる内容	○南部生涯学習センターの管理運営			
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画							
		根拠法令	刈谷市生涯学習センター条例、刈谷市生涯学習センター条例施行規則							
	対象者		対象者を限定せず				事業期間	平成13年度～		
実施方法		■直営 ■委託 ■指定管理 □補助・助成 □その他								
BDO 事業実績 計画 V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画			
	・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営			
	成果		市民の生涯学習の拠点として、指定管理者により適切に施設の運営管理を行い、生涯学習を推進した。							
	課題		利用者の意見を反映し、一層の利用率の向上を図り、より良い施設運営を継続する。							
	指標名称（単位）				実績値			目標値		
					3年度	4年度	5年度	6年度	8年度	
	成果指標	南部生涯学習センター稼働率（％）		36.3	37.1	37.6	38.0	40.0		
	成果指標	南部生涯学習センター利用者数（人）		36,473	40,191	41,118	42,000	43,000		
	他市との比較検証									
	C 事業コスト	単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳		
事業費 ①		86,190	94,543	91,977	103,184	合計	91,977,245 円			
財源		特定財源	8,239	8,445	8,054	7,933	需用費	16,873,780 円		
		一般財源	77,951	86,098	83,923	95,251	役務費	103,834 円		
職員人件費 ②		1,287	1,506	1,458	1,473	委託料	73,622,328 円			
総事業費（①+②）		87,477	96,049	93,435	104,657	使用料及び賃借料	1,377,303 円			
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0	5年度特定財源名称					
		5年度までの累積事業費		0	南部生涯学習センター使用料					
		7年度以降の事業費見込		0	行政財産目的外使用料 土地建物貸付収入					

会計名			北部生涯学習センター施設管理事業				担当部		教育部	
一般会計							担当課		生涯学習課	
款	項	目					担当係		施設係	
10	5	11								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習・青少年育成							
		施策の内容	学習活動の支援							
	目的	指定管理者により、適切に施設の管理運営を行い、安全で快適に利用できる生涯学習施設を提供する。				主たる内容	○北部生涯学習センターの管理運営			
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画							
		根拠法令	刈谷市生涯学習センター条例、刈谷市生涯学習センター条例施行規則							
	対象者		対象者を限定せず				事業期間	平成20年度～		
実施方法		■直営 □委託 ■指定管理 □補助・助成 □その他								
BDO 事業実績 計画 実施 V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画			
	・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営			
	成果		市民の生涯学習の拠点として、指定管理者により適切に施設の管理運営を行い、生涯学習を推進した。							
	課題		利用者の意見を反映し、一層の利用率の向上を図り、より良い施設運営を継続する。							
	指標名称（単位）				実績値			目標値		
					3年度	4年度	5年度	6年度	8年度	
	成果指標	北部生涯学習センター稼働率（％）		32.3	31.7	32.1	32.5	35.0		
	成果指標	北部生涯学習センター利用者数（人）		47,673	51,603	64,210	65,000	70,000		
	他市との比較検証	知立市文化会館 花しょうぶホール 293席 安城市アンフォーレ ホール 255席 碧南市芸術文化ホール エメラルドホール 452席								
	C 事業コスト	単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳		
事業費 ①		101,507	109,393	109,791	122,612	合計	109,791,010 円			
財源		特定財源	13,580	15,412	15,554	15,907	需用費	1,788,952 円		
		一般財源	87,927	93,981	94,237	106,705	役務費	68,251 円		
職員人件費 ②		908	1,506	767	1,008	委託料	106,861,527 円			
総事業費（①+②）		102,415	110,899	110,558	123,620	備品購入費	1,072,280 円			
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0	5年度特定財源名称					
		5年度までの累積事業費		0	北部生涯学習センター使用料 行政財産目的外使用料					
	7年度以降の事業費見込		0							

会計名			南部生涯学習センター施設改修事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	施設係		
10	5	11								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習・青少年育成							
		施策の内容	学習活動の支援							
	目的	南部生涯学習センターの施設又は設備の老朽化に伴う改修等を行うことで、安全で快適な施設を維持する。				主たる内容	○施設又は設備の改修工事 ○施設又は設備の修繕			
		位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画、刈谷市公共施設等総合管理計画、刈谷市公共施設維持保全計画						
			根拠法令	刈谷市生涯学習センター条例、刈谷市生涯学習センター条例施行規則						
		対象者	対象者を限定せず				事業期間	～		
		実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画		
		・空調機（18台）取替 ・給湯温水設備改修 ・駐車場等整備 ・喫煙室撤去		・空調機（14台）取替 ・外壁改修 ・屋上防水改修		・焼成室内排風機修繕 ・館内室名サイン改修 ・KARIYA FREE Wi-Fi整備 ・多目的ホール音響設備改修		・冷温水発生器（1号機）操作盤改修 ・南玄関自動ドア部品取替修繕		
成果		老朽化した施設又は設備を改修し、施設を良好な状態に保ち、安全で快適な施設を維持することができた。								
課題		施設又は設備の老朽化に伴い、計画的かつ適切に改修を行っていく必要がある。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
			3年度	4年度	5年度	6年度	8年度			
成果指標		南部生涯学習センター稼働率（％）	36.3	37.1	37.6	38.0	40.0			
成果指標		南部生涯学習センター利用者数（人）	36,473	40,191	41,118	42,000	43,000			
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳		
	事業費 ①		40,758	75,044	9,795	8,300	合計	9,795,203 円		
	財源	特定財源	13,000	36,000	0	0	需用費	933,680 円		
		一般財源	27,758	39,044	9,795	8,300	委託料	103,510 円		
	職員人件費 ②		1,022	151	1,611	1,085	工事請負費	7,057,688 円		
	総事業費（①＋②）		41,780	75,195	11,406	9,385	備品購入費	1,700,325 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	5年度特定財源名称					
		5年度までの累積事業費		0						
		7年度以降の事業費見込		0						

会計名			北部生涯学習センター施設改修事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	施設係	
10	5	11							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習・青少年育成						
		施策の内容	学習活動の支援						
	目的	北部生涯学習センターの施設又は設備の老朽化に伴う改修等を行うことで、安全で快適な施設を維持する。				主たる内容	○施設又は設備の改修工事 ○施設又は設備の修繕		
		位置づけ	関連計画 刈谷市生涯学習推進計画、刈谷市公共施設等総合管理計画、刈谷市公共施設維持保全計画						
		根拠法令	刈谷市生涯学習センター条例、刈谷市生涯学習センター条例施行規則						
		対象者	対象者を限定せず				事業期間	～	
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画	
		・ 駐車場改修 ・ 音響改修 ・ 中央監視UPS取替 ・ 点検口設置		・ 多目的ホール他LAN設置 ・ メインホール雨水管改修		・ 浄化槽調整槽用送風機取替 ・ 浄化槽自動微細目スクリーン取替 ・ 主変電所等電気整備改修 ・ 自動制御装置煤煙濃度計取替 ・ 自動制御装置バルブモーター取替		・ 高圧受電設備機器改修 ・ 直流電源装置改修 ・ 浄化槽流入ポンプ取替 ・ 自動制御装置ダンパモーター取替	
成果		老朽化した施設又は設備を改修し、施設を良好な状態に保ち、安全で快適な施設を維持することができた。							
課題		県が平成2年に開館した施設（愛知県刈谷勤労福祉会館）の譲渡を受け、市が生涯学習センターとして転用利用している施設であるため、施設又は設備の老朽化により不具合が生じている。適切な時期に予防保全を実施し、長寿命化を図る必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			3年度	4年度	5年度	6年度	8年度		
成果指標		北部生涯学習センター稼働率（％）		32.3	31.7	32.1	32.5	35.0	
成果指標		北部生涯学習センター利用者数（人）		47,673	51,603	64,210	65,000	70,000	
他市との比較検証		知立市文化会館 花しょうぶホール 293席 安城市アンフォーレ ホール 255席 碧南市芸術文化ホール エメラルドホール 452席							
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳	
	事業費 ①		4,473	9,322	5,634	52,300	合計	5,633,661 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	2,016,300 円	
		一般財源	4,473	9,322	5,634	52,300	工事請負費	2,815,736 円	
	職員人件費 ②		1,022	1,242	1,381	1,008	備品購入費	801,625 円	
	総事業費（①＋②）		5,495	10,564	7,015	53,308			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	5年度特定財源名称				
		5年度までの累積事業費		0					
7年度以降の事業費見込		0							

会計名			施設管理事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	施設係	
10	5	12							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習・青少年育成						
		施策の内容	学習活動の支援						
	目的	指定管理者により、適切に総合文化センターの管理運営を行い、生涯学習の機会及び文化芸術活動の発表の場を提供する。				主たる内容	○総合文化センターの管理運営		
		位置づけ	関連計画 刈谷市生涯学習推進計画、刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	刈谷市総合文化センター条例、刈谷市民ホール条例、刈谷市生涯学習センター条例ほか						
		対象者	対象者を限定せず				事業期間	平成21年度～	
	実施方法	■直営 ■委託 ■指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画 V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画	
		・指定管理者による管理運営 ・施設又は設備の修繕		・指定管理者による管理運営 ・施設又は設備の修繕		・指定管理者による管理運営 ・施設又は設備の修繕		・指定管理者による管理運営 ・施設又は設備の修繕 (R5繰越分) ・大ホール調光盤内調光ユニット交換修繕	
成果		生涯学習及び文化芸術の拠点として、指定管理者により適切に施設の管理運営を行い、生涯学習の推進及び文化芸術の振興に寄与した。							
課題		指定管理者により適切に施設の管理運営が行われるようモニタリングを実施し、指定管理者への指導等を行っていく必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			3年度	4年度	5年度	6年度	8年度		
成果指標		大ホール稼働率（％）		64.6	77.2	84.1	90.0	90.0	
成果指標		総合文化センターに対する満足度（％）		98.2	97.6	97.9	98.0	98.0	
他市との比較検証		知立市文化会館 かきつばたホール 1,004席 安城市民会館 サルビアホール 1,200席 碧南市芸術文化ホール エメラルドホール 452席 岡崎市民会館 あおいホール 1,100席							
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳	
	事業費 ①		515,605	568,299	536,678	571,468	合計	536,678,110 円	
	財源	特定財源	91,802	120,105	119,478	122,963	需用費	86,446,424 円	
		一般財源	423,803	448,194	417,200	448,505	役務費	885,799 円	
	職員人件費 ②		2,877	1,958	1,381	1,745	委託料	435,366,562 円	
	総事業費（①+②）		518,482	570,257	538,059	573,213	使用料及び賃借料	10,664,625 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称		備品購入費	3,256,000 円
		5年度までの累積事業費		0		中央生涯学習センター使用料 総合文化センター駐車場使用料 行政財産目的外使用料 ホール使用料		負担金、補助及び交付金	58,700 円
7年度以降の事業費見込		0							

会計名			施設補修事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	施設係	
10	5	12							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習・青少年育成						
		施策の内容	学習活動の支援						
	目的	総合文化センターの施設又は設備の老朽化に伴う補修を行うことで、安全で快適な施設を維持する。				主たる内容	○施設又は設備の修繕		
		位置づけ	関連計画 刈谷市生涯学習推進計画、刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	刈谷市総合文化センター条例、刈谷市民ホール条例、刈谷市生涯学習センター条例ほか						
		対象者	対象者を限定せず				事業期間	平成27年度～	
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画V	3年度実績	4年度実績		5年度実績		6年度計画		
			・中央監視装置用無停電電源装置修繕		施設改修事業へ移行		・大小ホール音響調整卓部品取替		
					(R5繰越分) ・大ホール調光盤直流電源装置取替				
成果		老朽化した施設又は設備を補修し、施設を良好な状態に保ち、安全で快適な施設を維持することができた。							
課題		施設又は設備の老朽化に伴い、継続的かつ適切に補修を行っていく必要がある。							
指標名称（単位）		実績値			目標値				
		3年度	4年度	5年度	6年度	8年度			
成果指標		大ホール稼働率（％）	64.6	77.2	84.1	90.0	90.0		
成果指標		総合文化センターに対する満足度（％）	98.2	97.6	97.9	98.0	98.0		
他市との比較検証	知立市文化会館 かきつばたホール 1,004席 安城市民会館 サルビアホール 1,200席 碧南市芸術文化ホール エメラルドホール 452席 岡崎市民会館 あおいホール 1,100席								
C 事業コスト	単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳		
	事業費 ①		726	0	792	280	合計	792,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	280	需用費	792,000 円	
		一般財源	726	0	792	0			
	職員人件費 ②		265	0	997	54			
	総事業費（①＋②）		991	0	1,789	334			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	5年度特定財源名称				
		5年度までの累積事業費		0					
7年度以降の事業費見込		0							